

## 県立病院に関するアンケート調査 集計結果

健康福祉部医療整備課

### <調査の目的>

病院を取り巻く環境が一段と厳しくなる中、県立病院が引き続きこれまでの役割を果たし、質の高い医療を提供していくために、県民の皆様のご意見を伺い、県立病院の運営形態の見直しの検討に役立てる。

### <調査対象>

県政モニター532名（うちインターネット県政モニター131名）

### <調査方法>

郵送及びインターネット

### <調査期間>

平成20年7月中旬～8月上旬

### <回収結果>

421名（回収率79.1%）

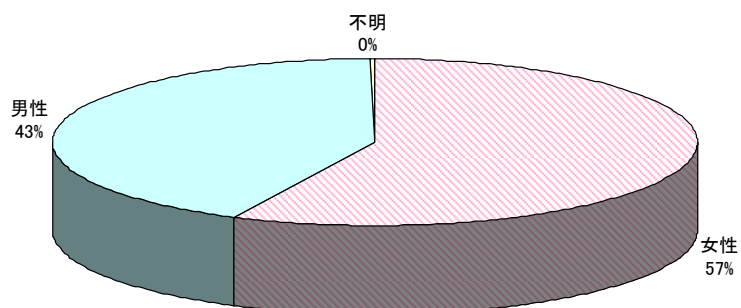
### <アンケート結果概要>

- 各県立病院の認知度は、3病院とも5割強であるが、何れかの県立病院を知っている人は、ほぼ10割。
- また、県総合医療センターの利用したことがある人は、約35%。同じく県立多治見病院は27%、県立下呂温泉病院は14%
- 県立病院に対するイメージは、「民間病院等では治療困難な高度・専門医療を行っている」約7割、「地域の中心的病院としての機能を果たす」約6割。一方、「待ち時間が長い、駐車場が狭いなど、患者サービスが良くない」が約4割。
- 県病院に求めるものは、「民間病院や他の公立病院では治療が難しい、高度専門医療を行う」約8割、「広域的な対応が必要な救急医療、災害医療、感染症医療を行う」約6割
- 医療水準と県民負担については、「医療拡充」約7割、そのうち「県民負担増やむなし」は約4割。「医療の拡充、現行水準維持をするに県民負担増やむなし」も約4割。
- 運営形態については、「県直営を求める」は約3割であるが、「こだわらない」「民間移譲」は約7割。

○回答者の属性

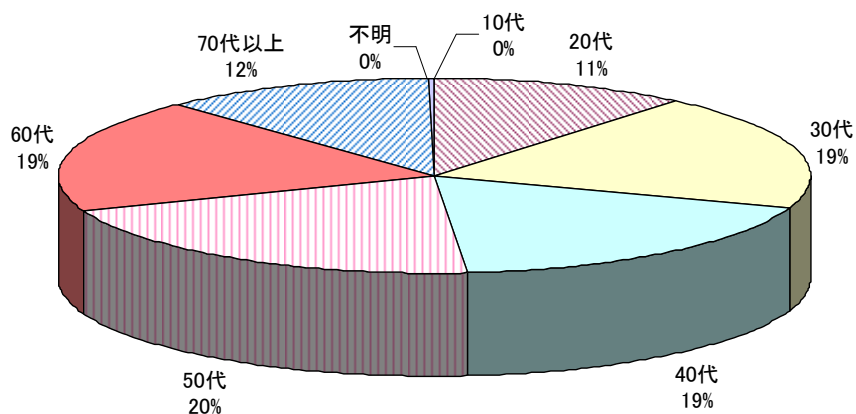
(1) 性別

男性	179
女性	241
未回答	1
計	421



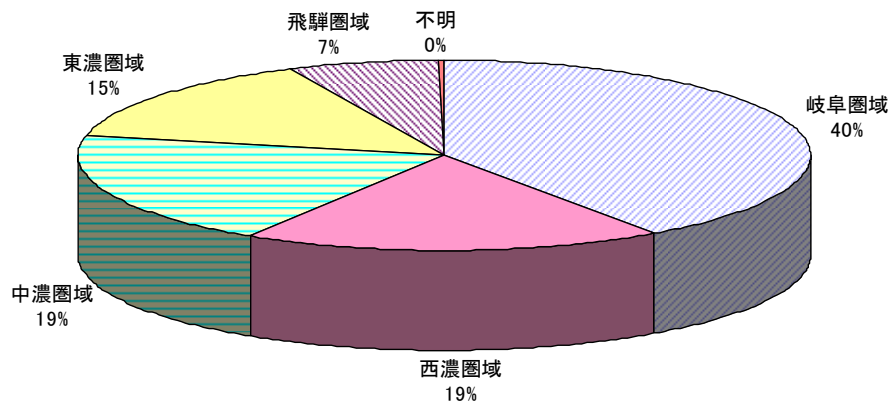
(2) 年代別

10代	0
20代	47
30代	80
40代	78
50代	86
60代	80
70代以上	49
未回答	1
計	421



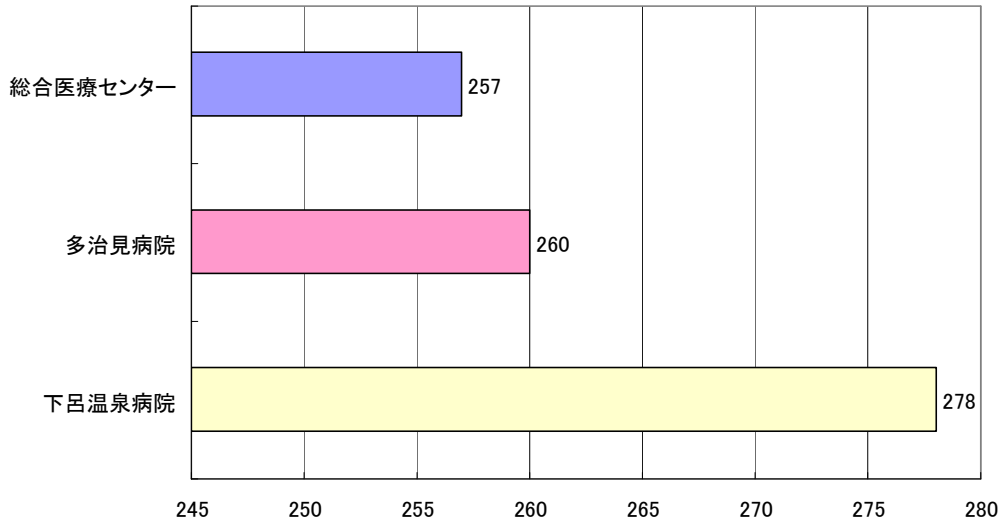
(3) 居住地別

岐阜圏域	170
西濃圏域	78
中濃圏域	82
東濃圏域	62
飛騨圏域	28
未回答	1
計	421



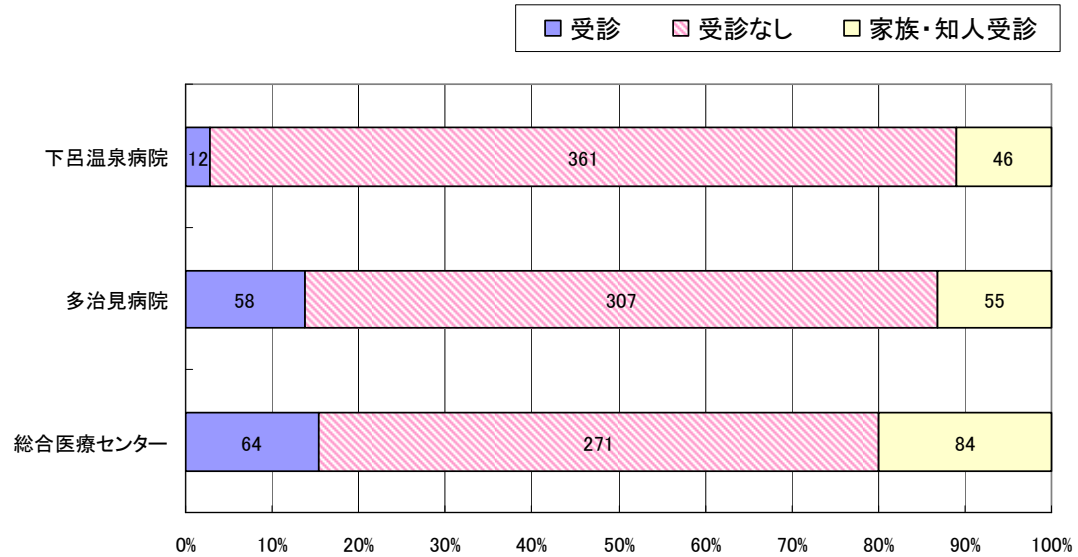
※以下、未回答は集計に含めていません。※

問1 岐阜県では次の3つの県立病院を設置・運営しております。この中で名前をご存知のものをすべて選んでください。

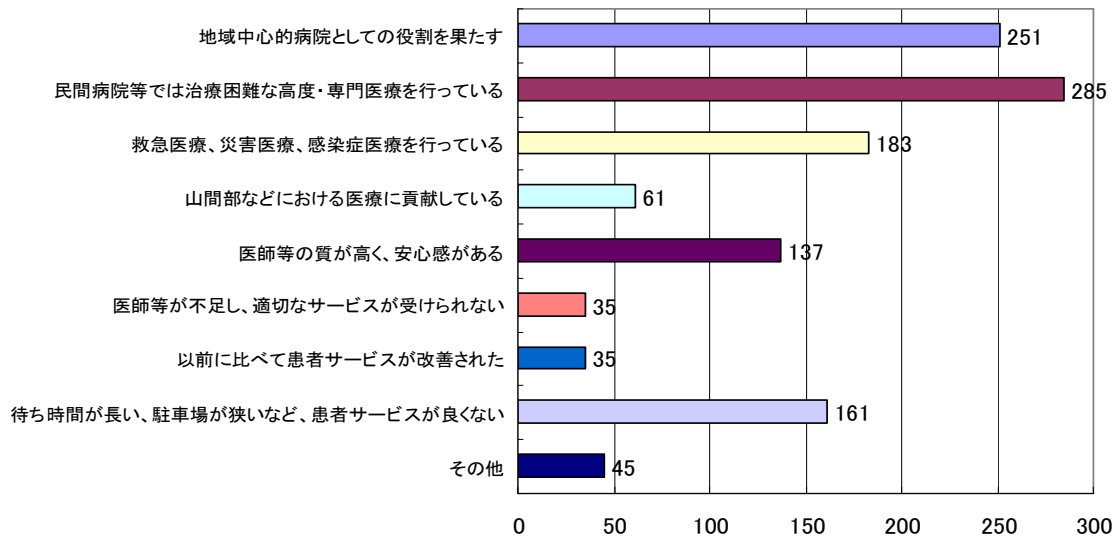


問2 あなたは、問1にあげた3つの県立病院を受診したことがありますか。

	受診したことがある	受診したことがない	私は受診したことがないが、家族・知人が受診したことがある
岐阜県総合医療センター	64	271	84
岐阜県立多治見病院	58	307	55
岐阜県立下呂温泉病院	12	361	46



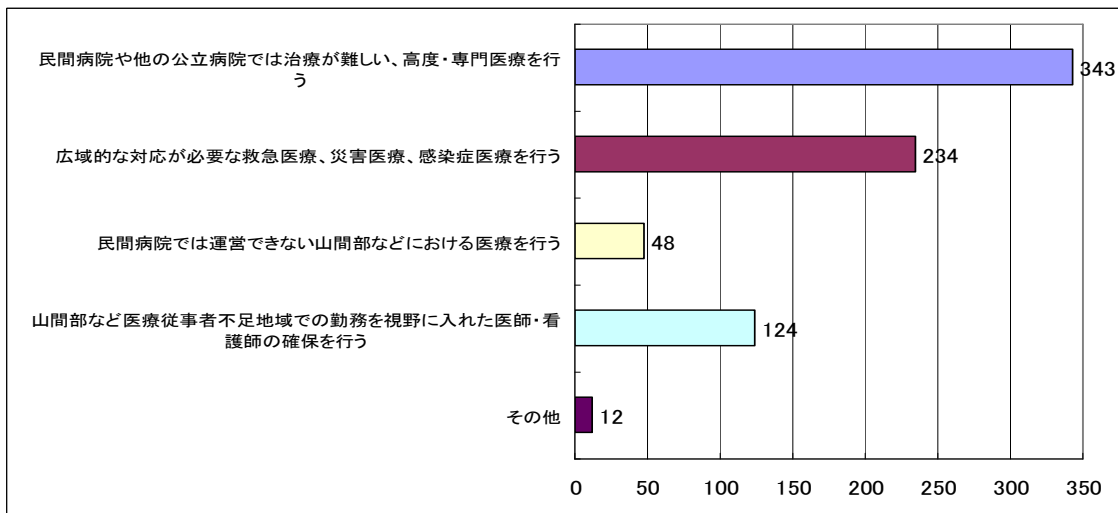
問3 県立病院について、あなたはどのようなイメージを持っていますか。次の中から、あなたのイメージに近いものを選んでください。（複数回答可）



※「その他」の主な内容

- ・一般の人が気軽に受診できない。
- ・医療ミスが多い
- ・建物が古くて暗い。院内が迷路のようで分かりにくい。
- ・近場でないため、意識していない。
- ・経営難で大変苦労している。
- ・地域の信頼を受けている。

問4 あなたが、県立病院に求めるものはなんですか。次の中から選んでください。（2つまで）



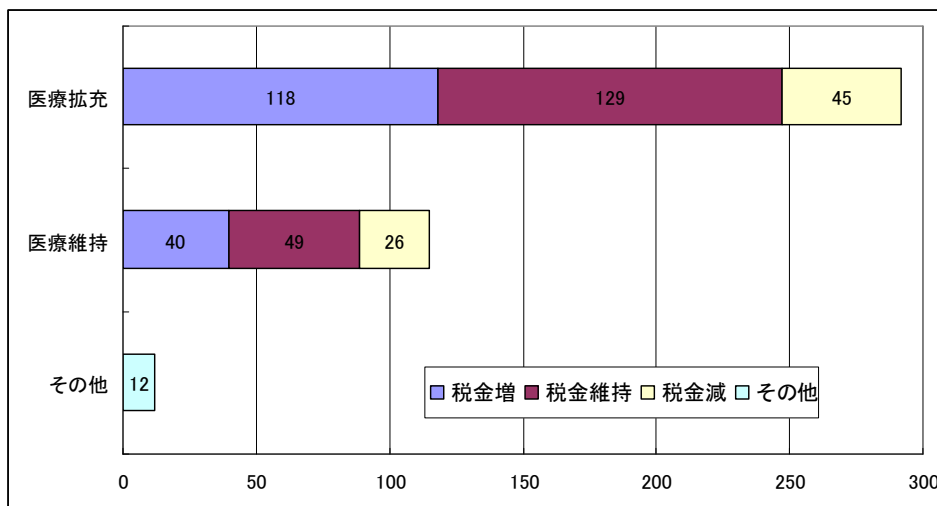
※「その他」の主な内容

- ・受入れ拒否されそうな病気も受け入れて欲しい。
- ・県立病院と名の付く病院には期待していたが、近くの市民病院との違いが分からない。もっとちゃんと役割を果たして欲しい。
- ・岐阜大学医学部との連携がもっと盛んになってもいいのでは。
- ・特定の医療とかではなく、病院全てに安心、信用、信頼できる医師、看護師などが居てほしい。

問5 今後、県立病院が、県民の求める医療（選択肢では「県の医療」といいます。）を継続していく上で、県民の負担について、あなたの考えに近いものを、次の中から一つ選んでください。

※ 現在、県立病院の経営は、民間病院などで担うことができない、高度で専門的な医療、へき地医療、救急医療などを行っており、患者や保険者からの診療報酬（H18実績、約250億円）の他に、平成18年度においては、約48億円の税金（一般会計負担）が使われています。

県の医療を充実する必要があるが、税金投入額を増やすこともやむを得ない	118
県の医療を充実する必要があるが、税金投入額は現在と同程度にとどめるべきである	129
県の医療を充実する必要があるが、運営の効率化により、税金投入額を減らすべき	45
県の医療を現在の水準で行う必要があるが、税金投入額を増やすこともやむを得ない	40
県の医療を現在の水準で行う必要があるが、現在と同程度の税金投入額はやむを得ない	49
県の医療を現在の水準で行う必要があるが、運営の効率化により、税金投入額を減らすべき	26
その他	12

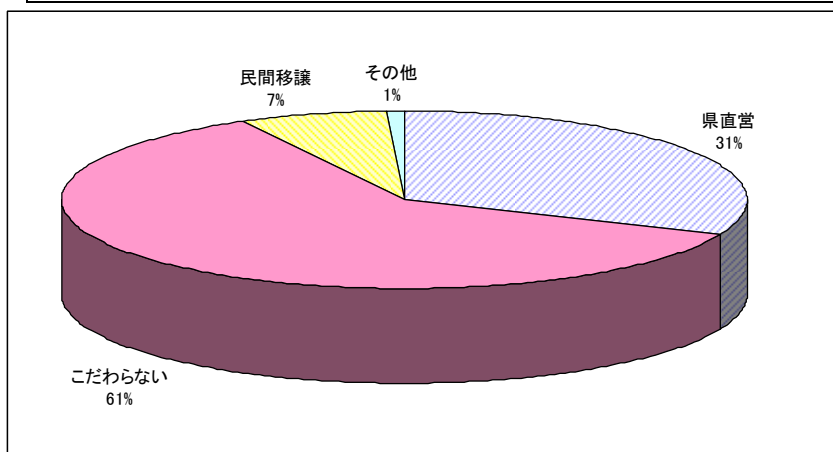


※「その他」の主な内容

- ・医療水準の維持は絶対だが、利用回数や受ける医療によってもっと患者の負担を増やすほうが良い。
- ・最低限の医療水準で、運営の効率化を重視。
- ・病院や学校などにもっと税金をまわすべき。そもそも病院や学校が必死になって、経費の節減に頭を悩ますこと自体おかしい。
- ・県民が求める医療を充実する必要あり、県民はその負担を補うことに理解を示すべき。

問6 問4であなたが選んだ県立病院にもとめる役割（選択肢では、「役割」といいます。）をこれからも継続して果たしていくためには、どのような運営の形態が望ましいと思いますか。次の中からあてはまるものを一つ選んでください。

役割を果たすためには、県が直接運営することが望ましい	131
役割が果たせるのであれば、県の直接運営にはこだわらない	255
役割が十分果たせなくなる恐れがあるが、経営効率化等が進むよう民間移譲が望ましい	29
その他	4



※「その他」の主な内容

- ・病院の運営には、一般人も入れて行くと良い。
- ・税金が使われるのだから、透明感のある運営ができる方を望みます。